

重点施策 13 地域文化団体の育成及び連携

【施策方針】

市文化協会（加盟団体 37）を中心とした地域文化を支える文化・芸術団体の育成及び連携と地域文化事業の振興を図る。

【実施状況】

（1）主な施策・事業

■地域文化団体の育成、地域文化事業の開催

- ① やわたはま芸能文化祭
- ② 保内芸能のつどい
- ③ 富澤赤黄男顕彰俳句大会
- ④ 保内文化のつどい

（2）主な施策・事業の実施状況

① やわたはま芸能文化祭

八幡浜市文化協会所属団体の中で、主として旧八幡浜市の芸能・文化団体の活動の発表会という位置付けのもと、文化の日に八幡浜市民文化活動センターで実施した（有料）。

② 保内芸能のつどい

前述の芸能文化祭と趣旨は同じで、八幡浜市文化協会に属する旧保内町の芸能・文化団体がその活動の成果として、八幡浜市文化会館（ゆめみかん）で発表会を実施した（有料）。

③ 富澤赤黄男顕彰俳句大会

郷土が生んだ偉大な俳人である富澤赤黄男を偲び、広く全国の俳句愛好者及び市内・周辺市町の小中学生から投句を募り、そのなかから優秀なものを選出し、表彰している（富澤赤黄男顕彰俳句大会開催委託料 200 千円）。八幡浜俳句協会・八幡浜市教育委員会の共催で実施。令和 6 年度は 40 回目の節目にあたり、愛媛ゆかりの俳人・坪内稔典、小西昭夫、神野紗希の 3 氏による鼎談を開催した。

④ 保内文化のつどい

八幡浜市文化協会の美術工芸部会に属する保内町地区の団体が、その活動の成果として八幡浜市文化会館（ゆめみかん）で作品展等を実施した（無料）。

【事務事業点検評価委員意見】

- やわたはま芸能文化祭は、文化の日に八幡浜市民文化活動センターで実施することができた。芸能・文化団体の発表・交流の場として参加や観覧を楽しみにしている市民も多い。保内芸能のつどいも、八幡浜市文化会館（ゆめみかん）で発表会を行い市民に喜ばれていた。

- 富澤赤黄男顕彰俳句大会は、郷土が生んだ偉大な俳人を偲び、俳句人口を増やすことにつながる大切な大会である。令和6年度は、広く全国の俳句愛好者及び市内・周辺市町の小中学生から、俳句を募った。俳句は、テレビやネットなどでも人気があり、将来に向け、俳句を好きで継続していける子供たちが、育ってほしい。また、市民が、俳句を通して心豊かに過ごしてほしいと思う。

保内文化のつどいでは、八幡浜市文化協会の美術工芸部会の作品展が、開催された。多様で、レベルの高い作品が展示され、地域文化の質の高さを感じることができた。

【自己評価】

- 各文化団体のご尽力により、地域に文化・芸術活動が根付いている。今後も文化団体の活動を支援することで、市の文化振興を図りたい。
- やわたはま芸能文化祭、保内芸能のつどい、保内文化のつどいは、長年地域で親しまれている催しである。高齢化や人口減少により、文化団体の活動自体が変化する中、市民の芸能文化活動の発表や鑑賞の場のあり方について長期的視野で検討し、愛好者の裾野を広げたい。
- 富澤赤黄男顕彰俳句大会は、八幡浜俳句協会とともに運営している。今後も大会を継続するため、よりよい大会運営や実施内容を検討していきたい。